

科目名	ピアノ演奏理論Ⅳ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	金山 正一	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

ステージ上での演奏を意識した演奏法。更にマナーなども含めて考える。
表現伝達の方法（例えばテンポや拍子などの意味）など公開を意識した研究。

＝履修の条件と学習の方法＝

意欲のある者。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 シューマン：子供の情景（No. 1～6）研究
- 3回 シューマン：子供の情景（No. 7～10）研究
- 4回 シューマン：子供の情景（No. 11～13）研究
- 5回 ベートーベンのソナタ（初期作品）研究
- 6回 ベートーベンのソナタ（中期作品）研究
- 7回 ベートーベンのバガテルの研究（特に op. 126）
- 8回 シューベルトの即興曲の研究（特に op. 90-3, 4）
- 9回 シューベルトのソナタの研究（最後の3つのソナタ）
- 10回 メンデルスゾーン（特に無言歌）の研究
- 11回 ブラームス 後期作品の研究（op. 119 を中心に）
- 12回 モーツァルトの協奏曲（特に K. 491）の研究
- 13回 ベートーベンの協奏曲（特に No. 3）の研究
- 14回 プロコフィエフのソナタ作品研究
- 15回 その他の作品とまとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

各回に当番の学生の演奏で試験とします。期間内2回の試験を行いません。
表現を伝えることを主眼に評価を行ない、授業態度も加味します。

＝テキスト（必携）＝

特になし